

令和2年6月9日

健康福祉局

新型コロナウイルス感染症のモニタリング状況

1 モニタリング状況（参考数値）

集計期間： 令和2年6月1日(月) ～ 令和2年6月7日(日)

	指標	数値	前週	目安基準
(1)	直近1週間の人口10万人当たりの累積新規感染者数 (陽性者数 / (153万人 / 10万人))	0.65 人	0.13 人	0.5人未満 ^{※1}
(2)	週当たりの陽性増加比 (当該週の陽性者数 / 前週の陽性者数)	5.00	0.67	<1 ^{※1}
(3)	直近1週間の感染経路不明者の割合 (感染経路不明者数 / 陽性者数)	30.0%	100.0%	50%未満 ^{※2}
(4)	市内医療機関における入院中の患者数 ^{※3}	15人	18人	—
(5)	直近1週間の陽性率 ^{※4} (陽性者数 / 検査実施人数)	1.83%	0.41%	—

これらの数値は、速報値として公表するものです。

※1 新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言（新型コロナウイルス感染症対策専門家会議「緊急事態措置の解除の考え方」）より引用

※2 神奈川警戒アラート発動基準を引用（アラート発動基準：50%以上）

※3 6月7日(日)現在の入院者数（前週分は、5月31日(日)現在の入院者数）

※4 健康安全研究所及び民間検査機関による検査実績から算出（本市発表外患者も含む）

2 評価（川崎市健康安全研究所・岡部所長のコメント）

集計期間における川崎市内の患者発生数は10人と多くなっており、モニタリング指数も(4)を除いて上昇しております。これは川崎市中原区の医療機関における入院患者・医療スタッフの院内感染での感染者数増加によるものです。

現在、当該医療機関及び川崎市で調査を進めていますが、ここから市内への拡大はなく、医療機関では適切な対策が行われているところです。医療機関での診療その他は、当該医療機関のホームページに掲載されています。

また、「(4)市内医療機関における入院中の患者数」は少なく推移しており、市内における患者さんの入院可能なベッドについては心配のない状況が続いております。